

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 教員の年齢構成調査

#### (1) 学校種別教員の年齢構成

平成19年10月1日現在の教員数は、42,100人でした。

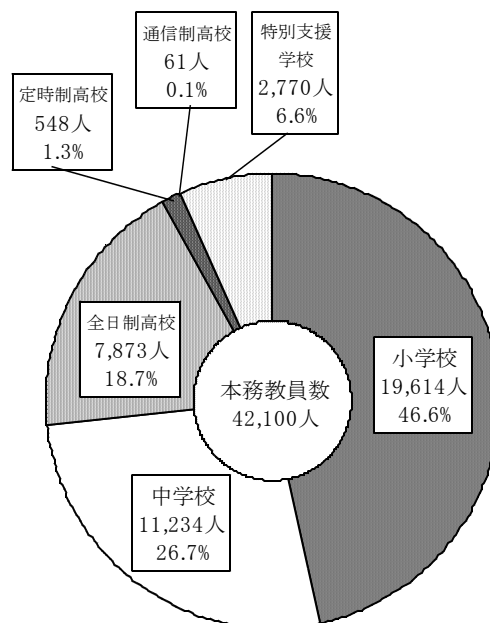
学校種別教員数をみると、小学校の教員数が最も多く、46.6%を占めています。以下、中学校が26.7%、全日制高等学校が18.7%、特別支援学校が6.6%、定時制高等学校が1.3%、通信制高等学校が0.1%でした。

本務教員に占める臨時的任用教員の割合は、特別支援学校が16.5%で最も高く、次いで定時制高等学校が11.9%でした。

教員の男女別構成比をみると、男子教員の割合が最も高いのは定時制高等学校で79.7%、女子教員の割合が最も高いのは小学校で64.3%でした。

年齢構成をみると、20歳代の割合が最も高いのは小学校で15.4%でした。以下、30歳代は小学校で16.3%、40歳代は全日制高等学校で40.8%、50歳代は通信制高等学校で54.1%、60歳以上は通信制高等学校で3.3%でした。

第1図 学校種別教員の構成

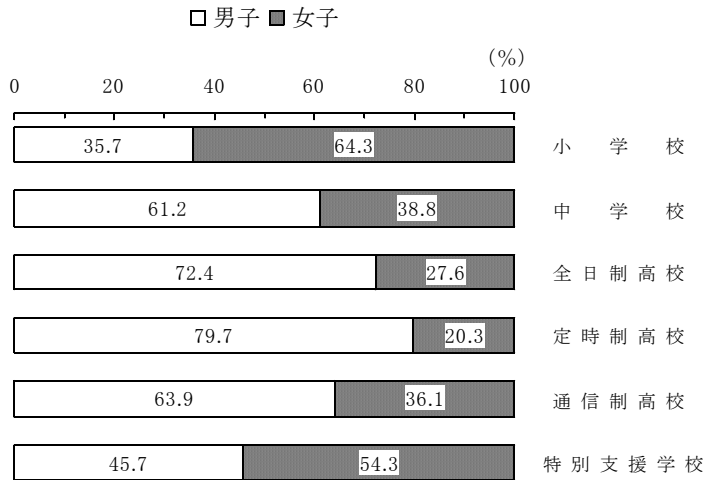


第1表 学校種別教員の年齢構成

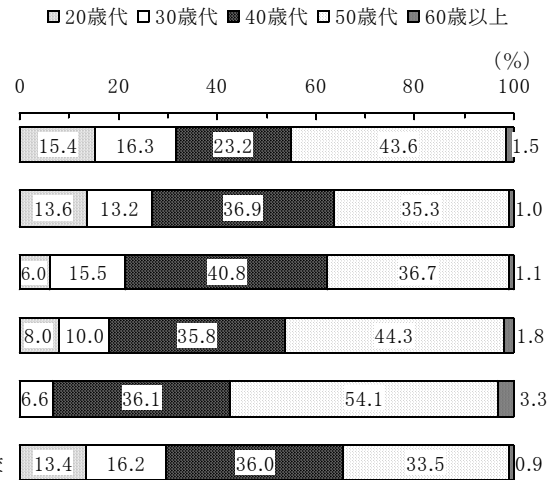
(単位:人)

区分	小学校			中学校			全日制高等学校			定時制高等学校			通信制高等学校			特別支援学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本務教員数	6,996	12,618	19,614	6,873	4,361	11,234	5,699	2,174	7,873	437	111	548	39	22	61	1,267	1,503	2,770
平均年齢(歳)	45.1	44.3	44.6	45.8	42.4	44.5	46.9	42.8	45.8	47.6	43.8	46.9	51.5	47.7	50.1	44.8	43.0	43.8
男女比(%)	35.7	64.3	100.0	61.2	38.8	100.0	72.4	27.6	100.0	79.7	20.3	100.0	63.9	36.1	100.0	45.7	54.3	100.0
臨時的任用教員数(再掲)	434	1,181	1,615	594	565	1,159	173	183	356	40	25	65	-	1	1	192	266	458
臨時的任用の割合(%)	6.2	9.4	8.2	8.6	13.0	10.3	3.0	8.4	4.5	9.2	22.5	11.9	-	4.5	1.6	15.2	17.7	16.5

第2図 学校種別教員の男女比



第3図 学校種別教員の年齢構成

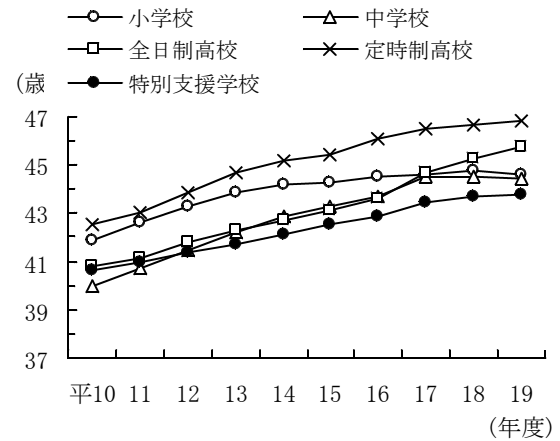


学校種別ごとの教員の平均年齢をみると、小学校で44.6歳、中学校で44.5歳、全日制高等学校で45.8歳、定時制高等学校で46.9歳、通信制高等学校50.1歳、特別支援学校で43.8歳でした。

平成19年度と平成10年度の教員の平均年齢を比較すると、平均年齢が最も上昇したのは、男子教員では通信制高等学校で7.0歳の上昇、女子教員では定時制高等学校で4.5歳の上昇でした。

全体では、通信制高等学校が最も上昇しており、5.7歳高くなりました。

第4図 学校種別教員の平均年齢の推移



第2表 学校種別教員の平均年齢

区分		(単位:歳)																	
		小学校			中学校			全日制高等学校			定時制高等学校			通信制高等学校			特別支援学校		
年度	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
平成10	43.4	42.1	42.6	41.7	39.2	40.7	42.0	38.6	41.1	43.8	39.3	43.0	44.5	44.2	44.4	42.1	40.2	41.0	
11	44.0	42.9	43.3	42.5	40.0	41.5	42.5	39.6	41.8	44.6	40.7	43.9	44.8	41.5	43.7	42.3	40.8	41.4	
12	44.5	43.5	43.9	43.2	40.7	42.2	43.1	40.0	42.3	45.5	41.2	44.7	46.3	43.3	45.3	42.4	41.1	41.7	
13	44.9	43.8	44.2	43.8	41.3	42.9	43.5	40.3	42.7	45.7	42.6	45.2	46.8	42.5	45.2	42.8	41.6	42.1	
14	45.1	43.9	44.3	44.4	41.6	43.3	44.0	40.5	43.1	45.8	43.2	45.4	46.5	44.1	45.8	43.2	41.9	42.5	
15	45.1	44.2	44.5	44.8	41.9	43.7	44.5	40.9	43.6	46.4	44.1	46.1	47.4	44.1	46.2	43.8	42.2	42.9	
16	45.2	44.3	44.6	45.4	42.4	44.2	45.1	41.2	44.0	46.2	45.2	46.1	48.2	43.3	46.3	44.3	42.6	43.4	
17	45.3	44.3	44.6	45.6	42.7	44.5	45.7	41.8	44.7	46.7	45.7	46.5	48.5	44.5	47.1	44.5	42.6	43.5	
18	45.4	44.4	44.7	45.8	42.5	44.5	46.4	42.2	45.3	47.1	44.9	46.7	50.8	46.3	49.2	44.7	42.9	43.7	
<b>19</b>	<b>45.1</b>	<b>44.3</b>	<b>44.6</b>	<b>45.8</b>	<b>42.4</b>	<b>44.5</b>	<b>46.9</b>	<b>42.8</b>	<b>45.8</b>	<b>47.6</b>	<b>43.8</b>	<b>46.9</b>	<b>51.5</b>	<b>47.7</b>	<b>50.1</b>	<b>44.8</b>	<b>43.0</b>	<b>43.8</b>	
対平成10年度	1.7	2.2	2.0	4.1	3.2	3.8	4.9	4.2	4.7	3.8	4.5	3.9	7.0	3.5	5.7	2.7	2.8	2.8	

(注) 埼玉県の公立学校本務教員の平均年齢

## (2) 小学校

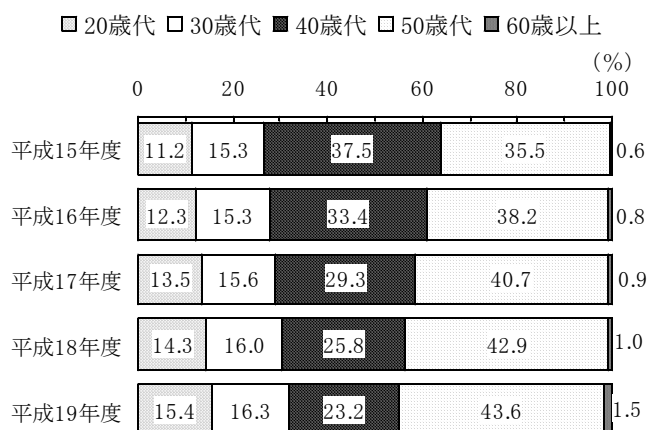
平成19年度の教員数は19,614人で、前年度より44人減少しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が15.4%（前年度14.3%）、30歳代が16.3%（同16.0%）、40歳代が23.2%（同25.8%）、50歳代が43.6%（同42.9%）、60歳以上が1.5%（同1.0%）でした。

平均年齢は44.6歳で、前年度より0.1歳低くなっています。

男女の構成比は、男子の割合が35.7%、女子の割合が64.3%でした。

### 第5図 小学校教員の年齢構成の推移



## (3) 中学校

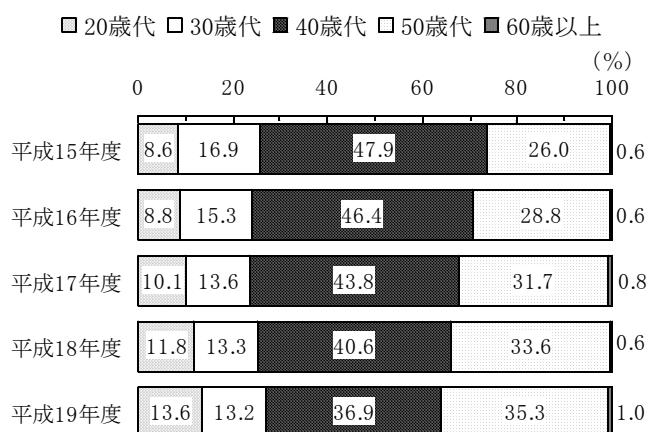
平成19年度の教員数は11,234人で、前年度より60人増加しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が13.6%（前年度11.8%）、30歳代が13.2%（同13.3%）、40歳代が36.9%（同40.6%）、50歳代が35.3%（同33.6%）、60歳以上が1.0%（同0.6%）でした。

平均年齢は44.5歳で、前年度と同じでした。

男女の構成比は、男子の割合が61.2%、女子の割合が38.8%でした。

### 第6図 中学校教員の年齢構成の推移



## (4) 教育事務所別小・中学校教員の年齢構成

教育事務所別に教員数の割合をみると、割合の高い南部・西部・東部の3事務所の合計で、小学校で全体の73.8%、中学校で全体の73.4%を占めています。

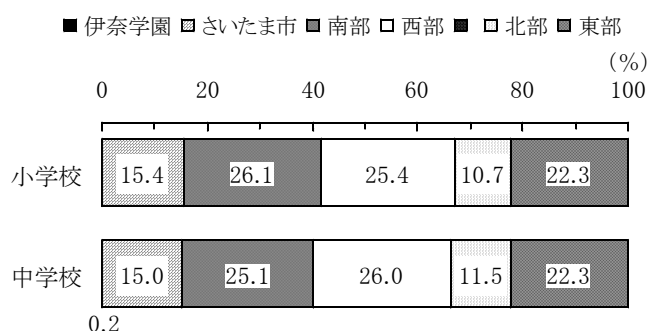
20歳代の割合が最も高いのは、小学校では南部教育事務所で18.9%、中学校でも南部教育事務所で15.8%でした。最も低いのは、小学校が北部教育事務所で10.0%、中学校が西部教育事務所で11.0%でした。

教員の平均年齢が最も低いのは、小学校が南部教育事務所で43.6歳、中学校でも南部教育事務所で43.7歳でした。最も高いのは、小学校が北部教育事務所で46.0歳、中学校が西部教育事務所で45.4歳でした。

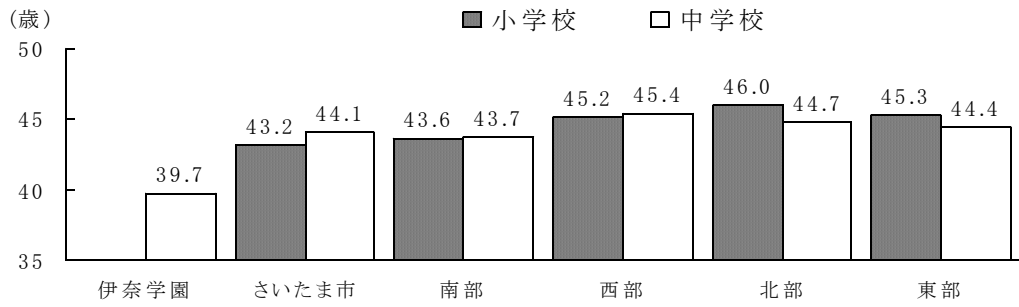
平均年齢の最高と最低の差は、小学校が2.4歳、中学校が1.7歳でした。

※「教育事務所」の担当区域については、17頁の【参考1】を御覧ください。

### 第7図 教育事務所別教員数の割合 (県立伊奈学園中学校、さいたま市を含む)



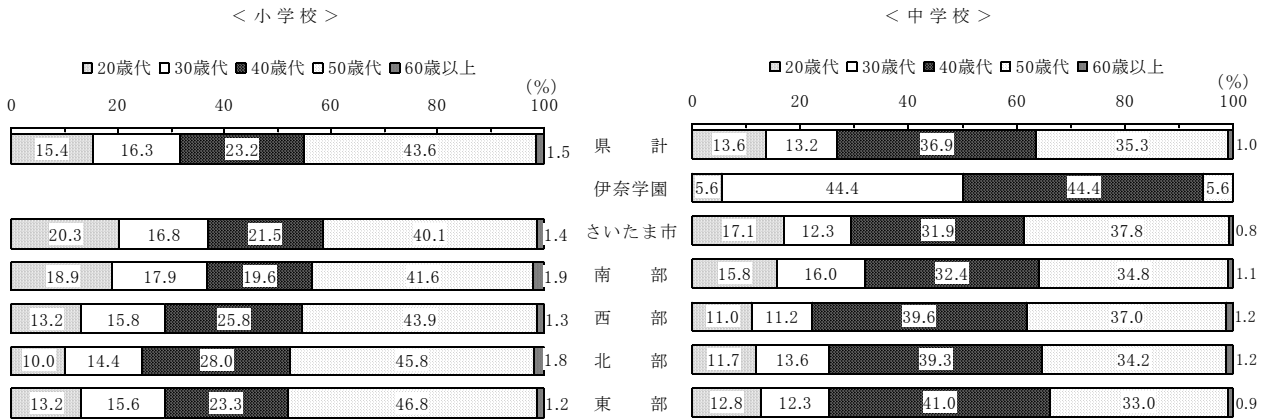
### 第8図 教育事務所別教員の平均年齢



区分	伊奈学園	さいたま市	南部	西部	秩父	北部	東部	県計
小学校	...	43.2 (43.4)	43.6 (44.0)	45.2 (45.2)	...	46.0 (45.6)	45.3 (45.4)	44.6 (44.7)
中学校	39.7 (40.5)	44.1 (44.4)	43.7 (44.1)	45.4 (45.3)	...	44.7 (44.5)	44.4 (44.3)	44.5 (44.5)

(注) ( )内は平成18年度の平均年齢

### 第9図 教育事務所別教員の年齢構成



本務教員に占める臨時的任用教員の割合を教育事務所別にみると、小学校では南部教育事務所が9.1%で最も高く、次いで北部教育事務所と東部教育事務所が7.6%でした。中学校でも南部教育事務所が12.4%で最も高く、次いで西部教育事務所と東部教育事務所が8.3%でした。

正式任用教員のうち最も平均年齢が低いのは、小学校では南部教育事務所44.6歳、中学校では東部教育事務所45.6歳でした。臨時的任用教員のうち最も平均年齢が低いのは、小学校では南部教育事務所34.0歳、中学校でも南部教育事務所29.0歳でした。

### 第3表 教育事務所別臨時的任用教員の割合

(単位……人数:人、平均年齢:歳、構成比:%)

区分	伊奈学園			さいたま市			南部			西部			北部			東部			県計			
	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	人数	平均年齢	構成比	
小学校	正式任用	/	/	2,741	44.5	90.5	4,661	44.6	90.9	4,605	46.0	92.6	1,945	46.7	92.4	4,047	46.2	92.4	17,999	45.5	91.8	
	臨時的任用			289	30.5	9.5	464	34.0	9.1	368	35.3	7.4	159	37.6	7.6	335	35.0	7.6	1,615	34.2	8.2	
校計				3,030	43.2	100.0	5,125	43.6	100.0	4,973	45.2	100.0	2,104	46.0	100.0	4,382	45.3	100.0	19,614	44.6	100.0	
中学校	正式任用	18	39.7	100.0	1,431	47.0	84.9	2,475	45.8	87.6	2,677	46.6	91.7	1,182	46.1	91.8	2,292	45.6	91.7	10,075	46.2	89.7
	臨時的任用	-	-	-	255	27.4	15.1	349	29.0	12.4	241	31.3	8.3	106	29.8	8.2	208	31.4	8.3	1,159	29.6	10.3
校計	18	39.7	100.0	1,686	44.1	100.0	2,824	43.7	100.0	2,918	45.4	100.0	1,288	44.7	100.0	2,500	44.4	100.0	11,234	44.5	100.0	

### (5) 全日制高等学校

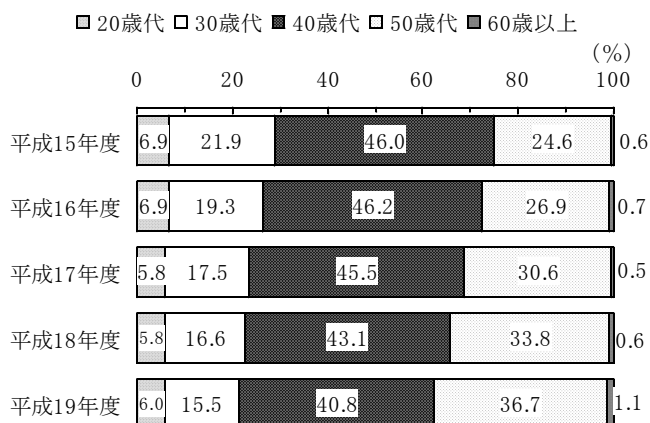
平成19年度の教員数は7,873人で、前年度より146人減少しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が6.0%（前年度5.8%）、30歳代が15.5%（同16.6%）、40歳代が40.8%（同43.1%）、50歳代が36.7%（同33.8%）、60歳以上が1.1%（同0.6%）でした。

平均年齢は45.8歳で、前年度よりも0.5歳高くなりました。

男女の構成比は、男子の割合が72.4%、女子の割合が27.6%でした。

### 第10図 全日制高等学校教員の年齢構成の推移



### (6) 定時制高等学校

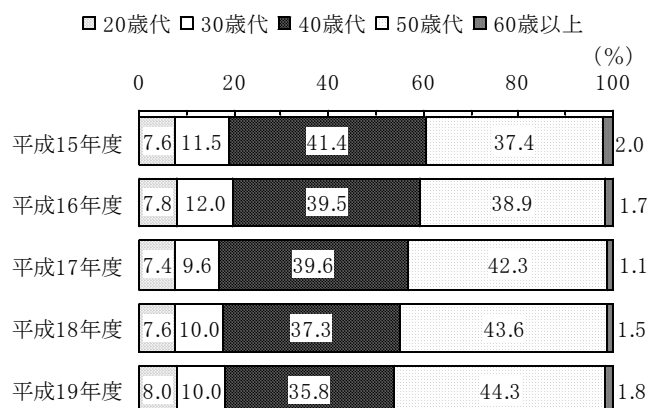
平成19年度の教員数は548人で、前年度より2人減少しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が8.0%（前年度7.6%）、30歳代が10.0%（同10.0%）、40歳代が35.8%（同37.3%）、50歳代が44.3%（同43.6%）、60歳以上が1.8%（同1.5%）でした。

平均年齢は46.9歳で、前年度よりも0.2歳高くなりました。

男女の構成比は、男子の割合が79.7%、女子の割合が20.3%でした。

### 第11図 定時制高等学校教員の年齢構成の推移



### (7) 特別支援学校

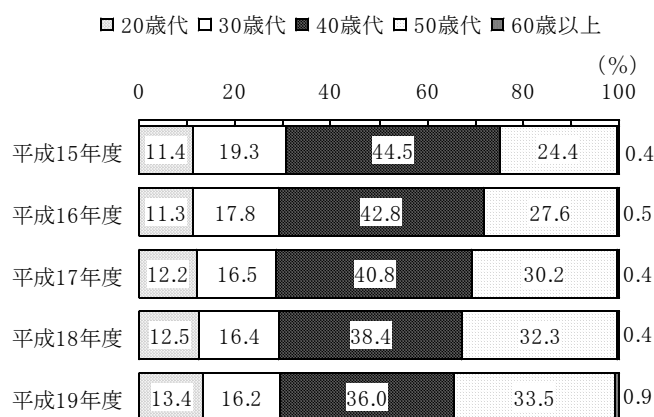
平成19年度の教員数は2,770人で、前年度より98人増加しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が13.4%（前年度12.5%）、30歳代が16.2%（同16.4%）、40歳代が36.0%（同38.4%）、50歳代が33.5%（同32.3%）、60歳以上が0.9%（同0.4%）でした。

平均年齢は43.8歳で、前年度よりも0.1歳高くなっています。

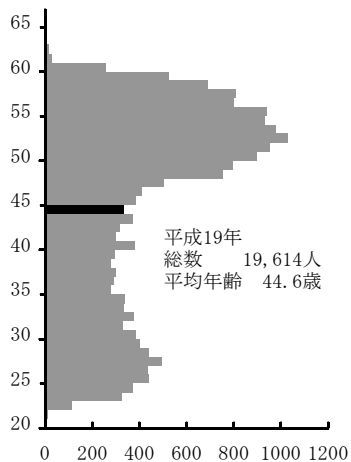
男女の構成比は、男子の割合が45.7%、女子の割合が54.3%でした。

### 第12図 特別支援学校教員の年齢構成の推移

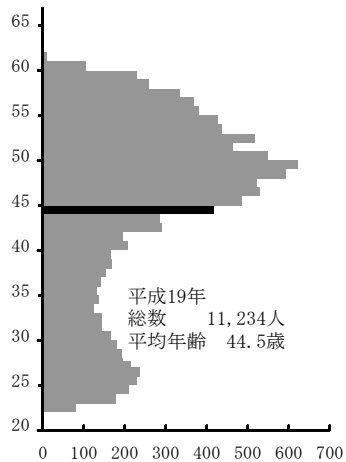


第13-1図 教員の年齢構成（総数）

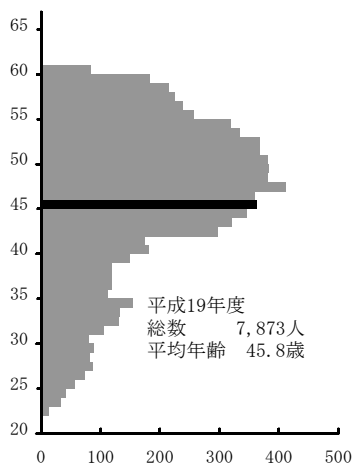
小学校教員



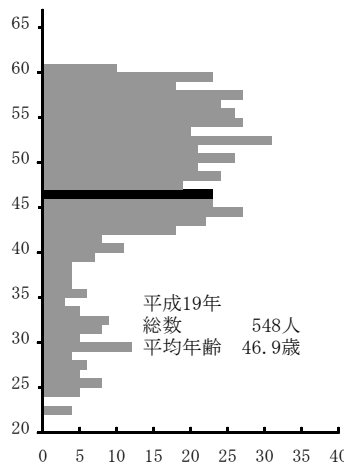
中学校教員



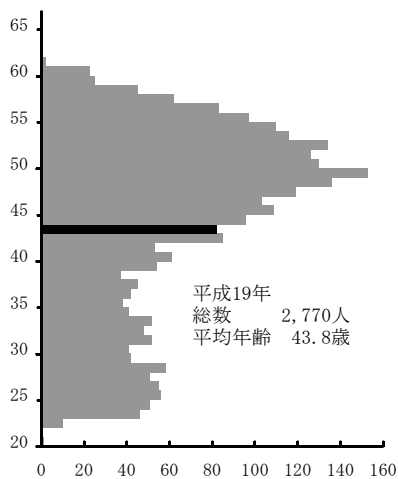
全日制高等学校教員



定時制高等学校教員

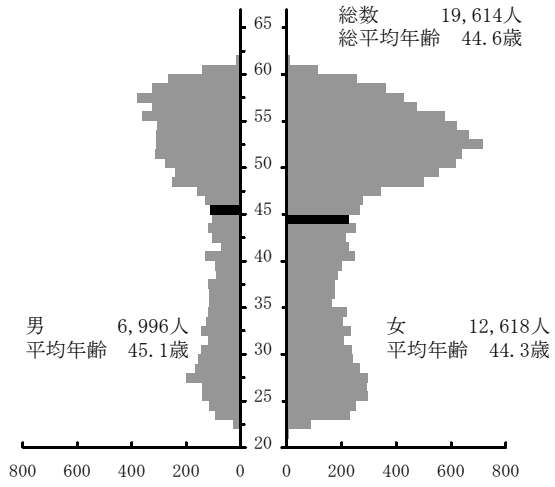


特別支援学校教員

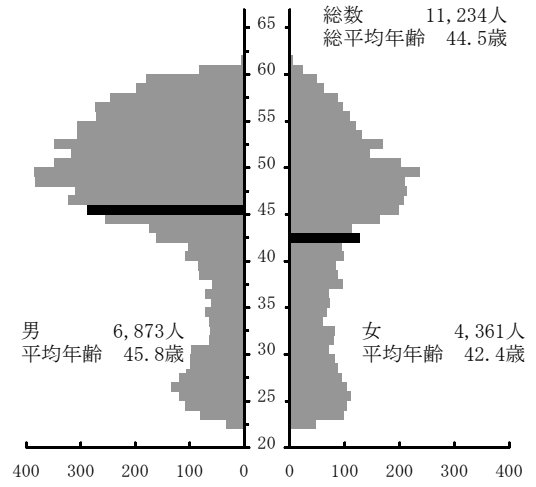


第13-2図 教員の年齢構成（男女別）

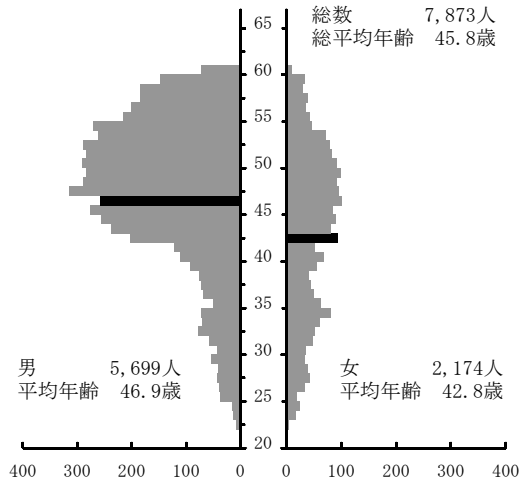
小学校教員



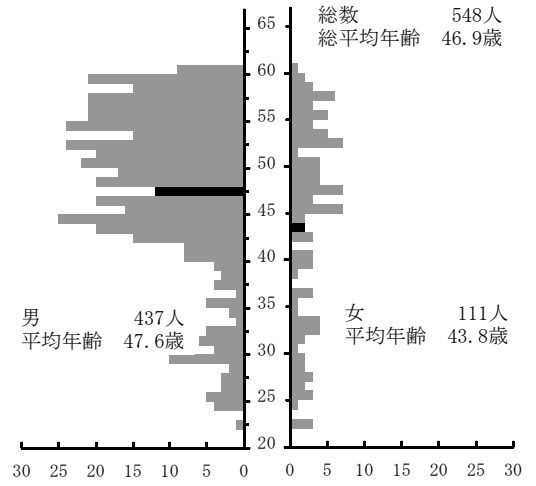
中学校教員



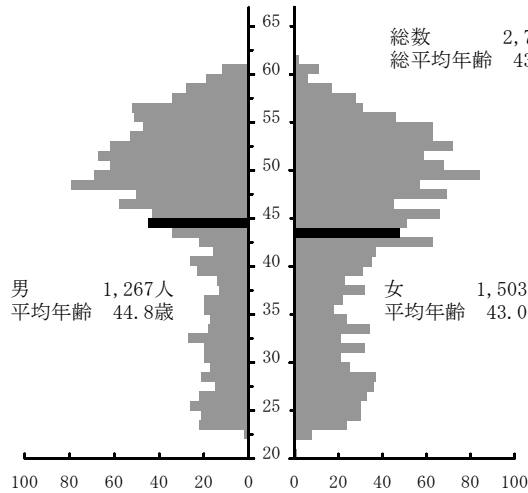
全日制高等学校教員



定時制高等学校教員



特別支援学校教員



## 2 職員の年齢構成調査

### (1) 学校種別職員の年齢構成

学校種別職員数をみると、小学校が2,290人で最も多く、次いで全日制高等学校が1,627人、中学校が911人でした。

平均年齢が最も高かったのは、定時制高等学校の45.0歳でした。

また、男女別構成比をみると、男子職員の割合が最も高いのは定時制高等学校で58.9%、女子職員の割合が最も高いのは小学校で77.5%でした。

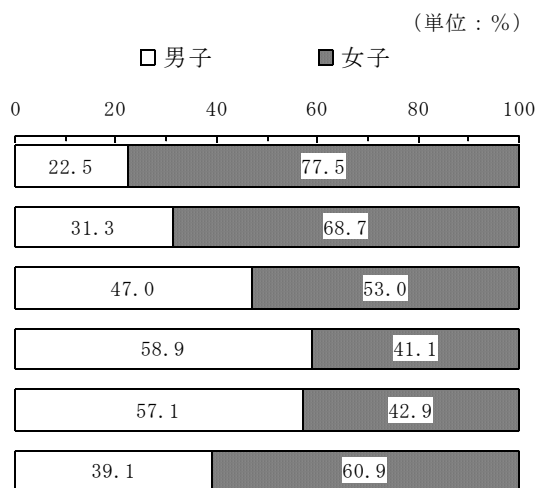
年齢構成をみると、10歳代の割合が最も高いのは小学校で0.3%でした。以下、20歳代は定時制高等学校で18.3%、30歳代は通信制高等学校で35.7%、40歳代は特別支援学校で29.9%、50歳代は小学校で35.0%、60歳以上は定時制高等学校で9.9%でした。

第4表 学校種別職員の年齢構成

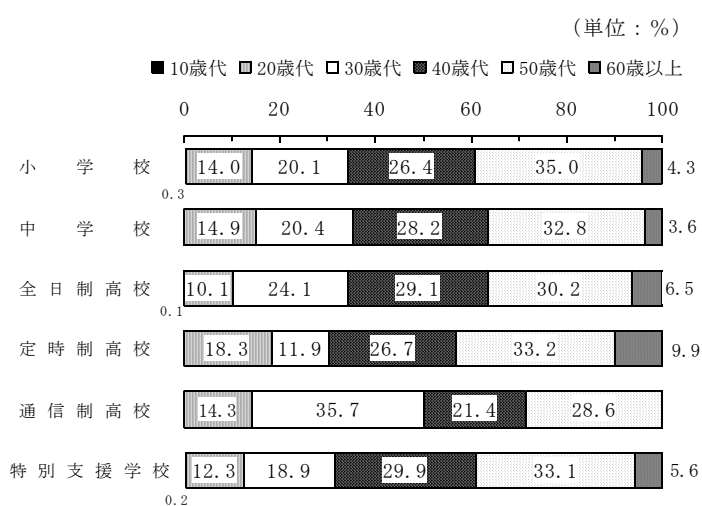
(単位…職員数:人、平均年齢:歳、比率:%)

区分	小学校			中学校			全日制高等学校			定時制高等学校			通信制高等学校			特別支援学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
本務職員数	515	1,775	2,290	285	626	911	764	863	1,627	119	83	202	8	6	14	182	283	465
平均年齢	44.5	44.1	44.2	44.1	44.0	44.0	45.3	43.8	44.5	42.6	48.5	45.0	43.5	39.8	41.9	44.6	44.6	44.6
男女比	22.5	77.5	100.0	31.3	68.7	100.0	47.0	53.0	100.0	58.9	41.1	100.0	57.1	42.9	100.0	39.1	60.9	100.0

第14図 学校種別職員の男女比



第15図 学校種別職員の年齢構成



### (2) 事務職員（市町村立小・中学校は負担法による者）の年齢構成

事務職員の男女別構成比をみると、男子職員の割合が最も高いのは定時制高等学校で75.3%、女子職員の割合が最も高いのは小学校で65.0%でした。

年齢構成をみると、10歳代の割合が最も高いのは小学校で0.7%でした。以下、20歳代は定時制高等学校で28.2%、30歳代は通信制高等学校で41.7%、40歳代は定時制学校で41.2%、50歳代は小学校で34.1%、60歳以上は特別支援学校で2.4%でした。

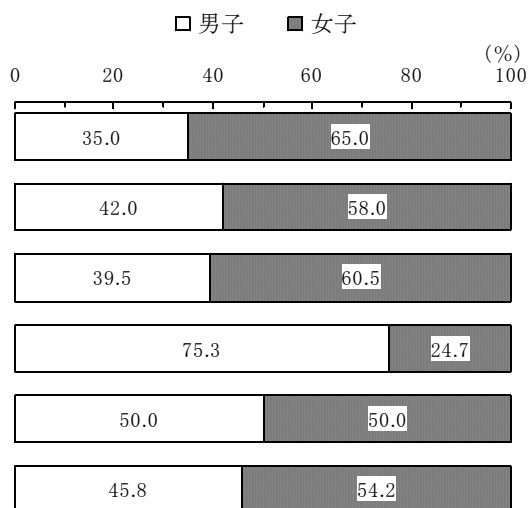


第5表 学校種別事務職員（市町村立小・中学校は負担法による者）の年齢構成

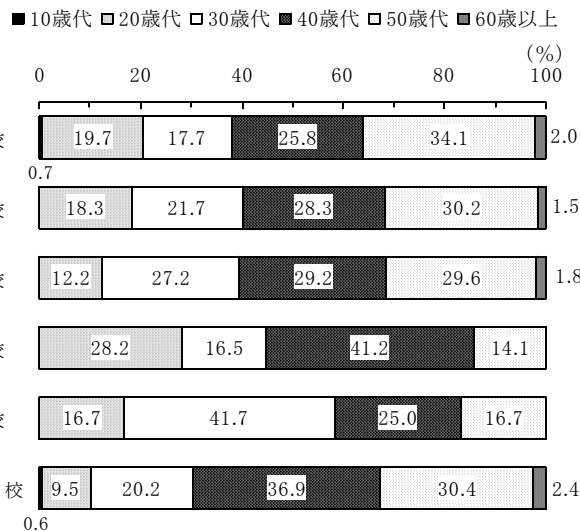
(単位…職員数:人、平均年齢:歳、比率:%)

区分	小学校			中学校			全日制高等学校			定時制高等学校			通信制高等学校			特別支援学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務職員数	310	575	885	193	267	460	346	530	876	64	21	85	6	6	12	77	91	168
平均年齢	43.6	42.2	42.7	41.9	42.7	42.4	43.2	42.6	42.8	39.4	39.3	39.4	39.7	39.8	39.8	45.2	43.0	44.0
男女比	35.0	65.0	100.0	42.0	58.0	100.0	39.5	60.5	100.0	75.3	24.7	100.0	50.0	50.0	100.0	45.8	54.2	100.0

第16図 学校種別事務職員の男女比



第17図 学校種別事務職員の年齢構成



(注) 市町村立小・中学校は負担法による者

① 小学校（負担法による者）

平成19年度の事務職員数は885人で、前年度より10人減少しました。

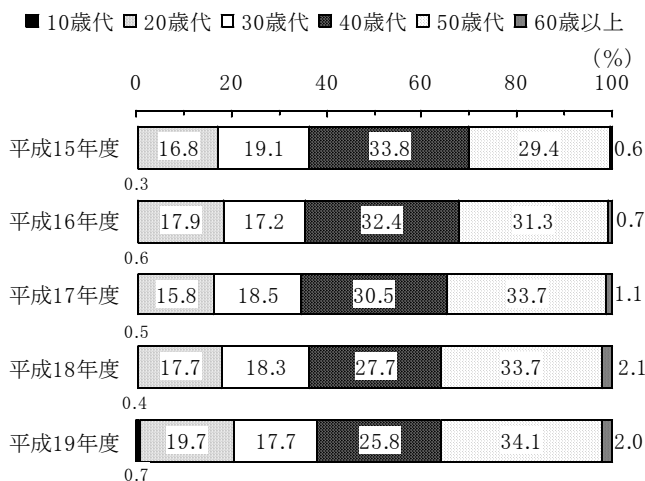
年齢構成の割合をみると50歳代が34.1%で最も高く、次いで40歳代が25.8%、20歳代が19.7%でした。

男女別構成比は、男子35.0%、女子65.0%でした。

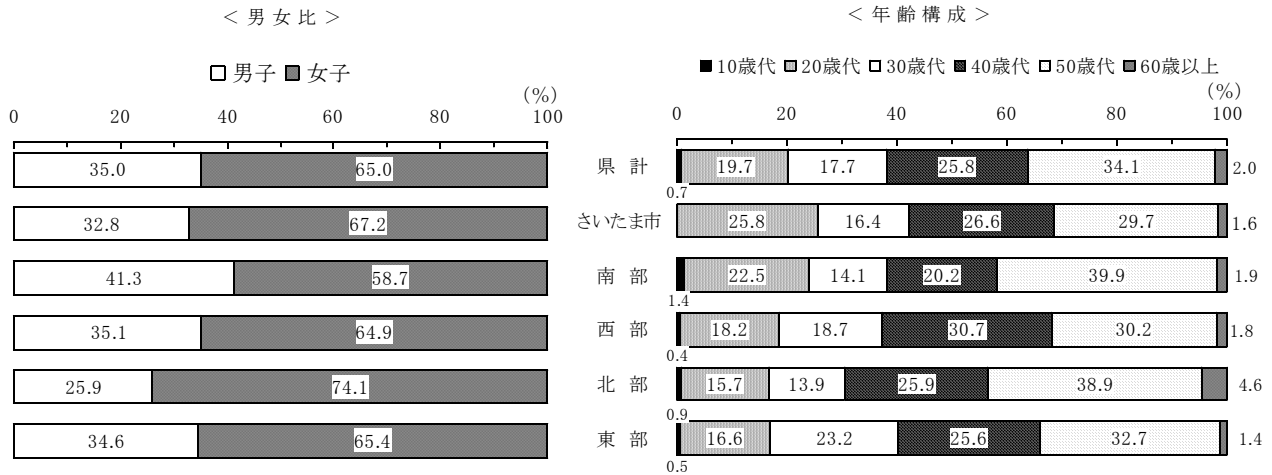
教育事務所別に年齢構成の割合をみると20歳代の割合が最も高いのは南部教育事務所で22.5%、次いで西部教育事務所が18.2%でした。最も低いのは北部教育事務所で15.7%でした。また、30歳代の割合が最も高いのは東部教育事務所で23.2%でした。

男女別構成比をみると、男子職員の割合が最も高いのは南部教育事務所で41.3%でした。女子職員の割合が最も高いのは北部教育事務所で74.1%でした。

第18図 小学校事務職員の年齢構成の推移



第19図 教育事務所別小学校事務職員（負担法による者）の男女比・年齢構成



② 中学校（市町村立は負担法による者）

平成19年度の事務職員数は460人で、前年度と同じでした。

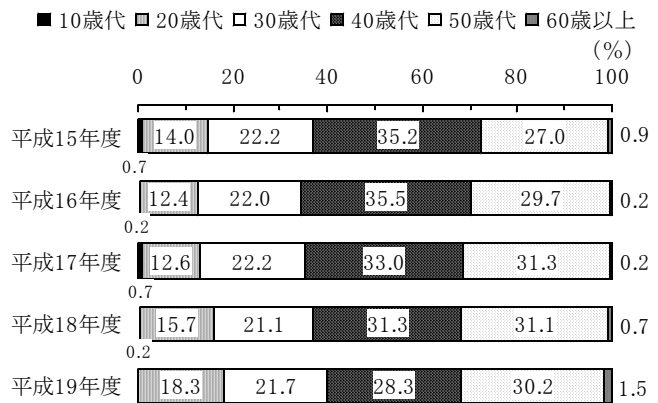
年齢構成の割合をみると、50歳代が30.2%で最も高く、次いで40歳代が28.3%、30歳代が21.7%でした。

男女別構成比は、男子42.0%、女子58.0%でした。

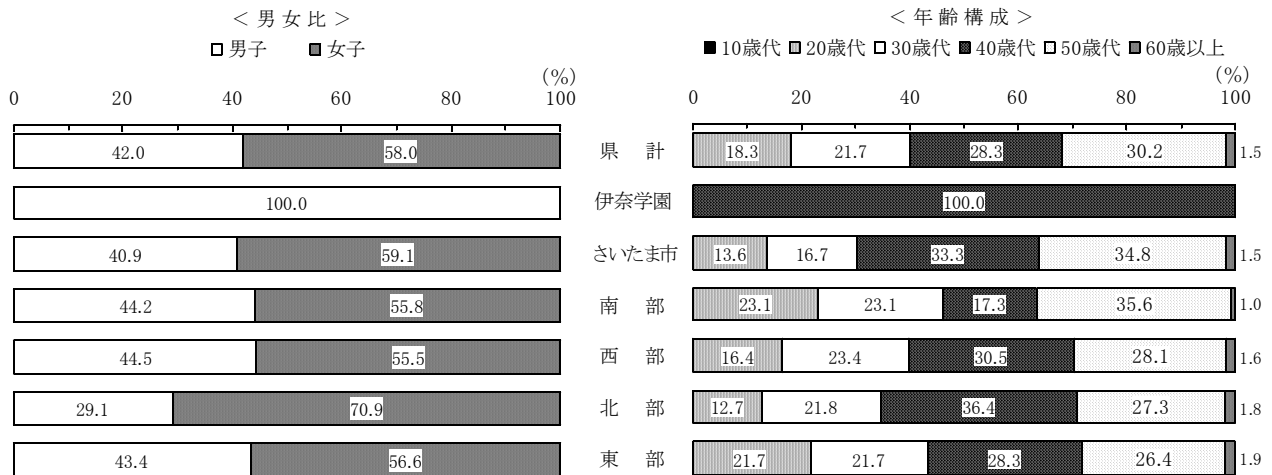
教育事務所別に年齢構成の割合をみると、20歳代の割合が最も高いのは南部教育事務所で23.1%、次いで東部教育事務所が21.7%でした。最も低いのは北部教育事務所12.7%でした。また、30歳代の割合が最も高いのは西部教育事務所23.4%でした。

男女別構成比をみると、男子職員の割合が最も高いのは西部教育事務所44.5%、女子職員の割合が最も高いのは北部教育事務所70.9%でした。

第20図 中学校事務職員の年齢構成の推移



第21図 教育事務所別中学校事務職員（市町村立は負担法による者）の男女比・年齢構成



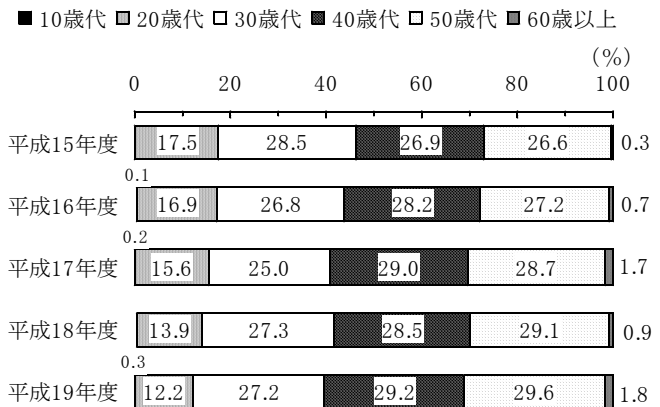
### ③ 全日制高等学校

平成19年度の事務職員数（事務長、担当課長、主任、主事、専門員、司書）は876人で、前年度より4人減少しました。

年齢構成の割合をみると、50歳代が29.6%で最も高くなっています。次いで、40歳代が29.2%、30歳代が27.2%でした。

男女別構成比は、男子39.5%、女子60.5%でした。

第22図 全日制高等学校事務職員の年齢構成の推移



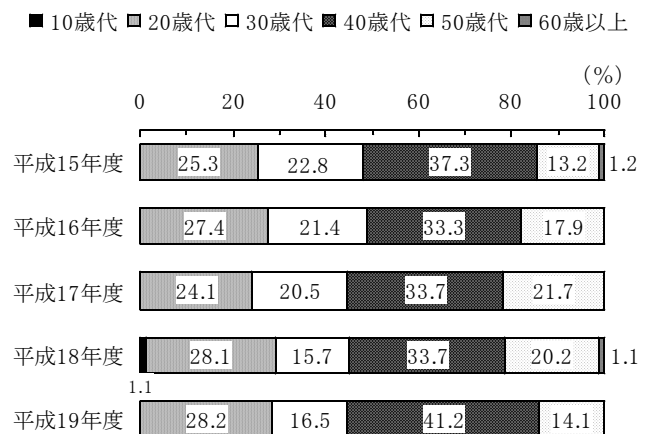
### ④ 定時制高等学校

平成19年度の事務職員数は85人で、前年度より4人減少しました。

年齢構成の割合をみると、40歳代が41.2%で最も高くなっています。次いで、20歳代が28.2%、30歳代が16.5%でした。

男女別構成比は、男子75.3%、女子24.7%でした。

第23図 定時制高等学校事務職員の年齢構成の推移



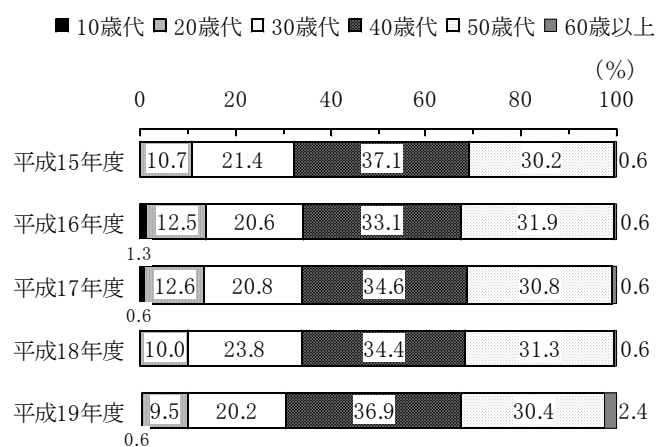
### ⑤ 特別支援学校

平成19年度の事務職員数は168人で、前年度より8人増加しました。

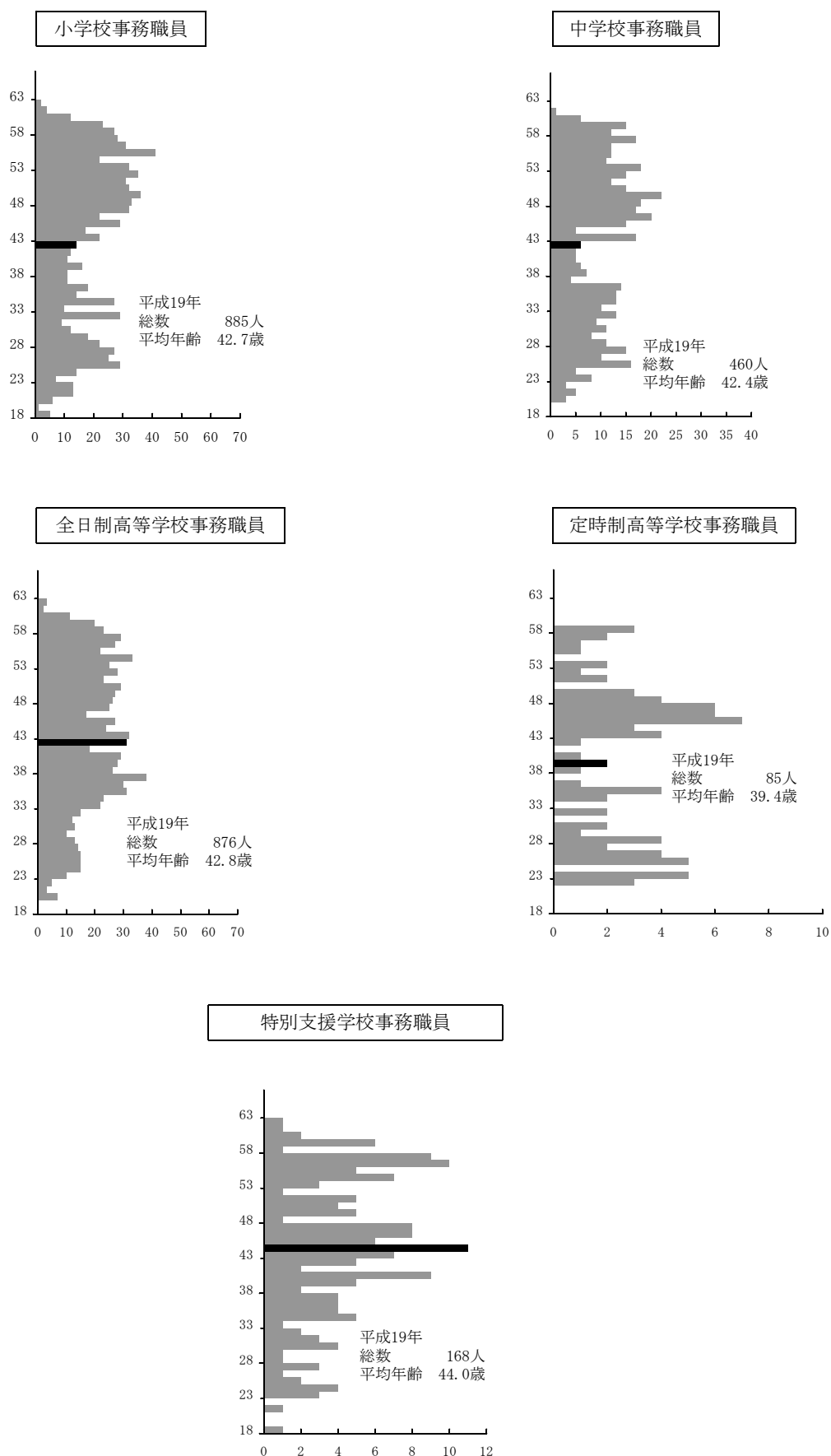
年齢構成の割合をみると、40歳代が36.9%で最も高くなっています。次いで、50歳代が30.4%、30歳代が20.2%でした。

男女別構成比は、男子45.8%、女子54.2%でした。

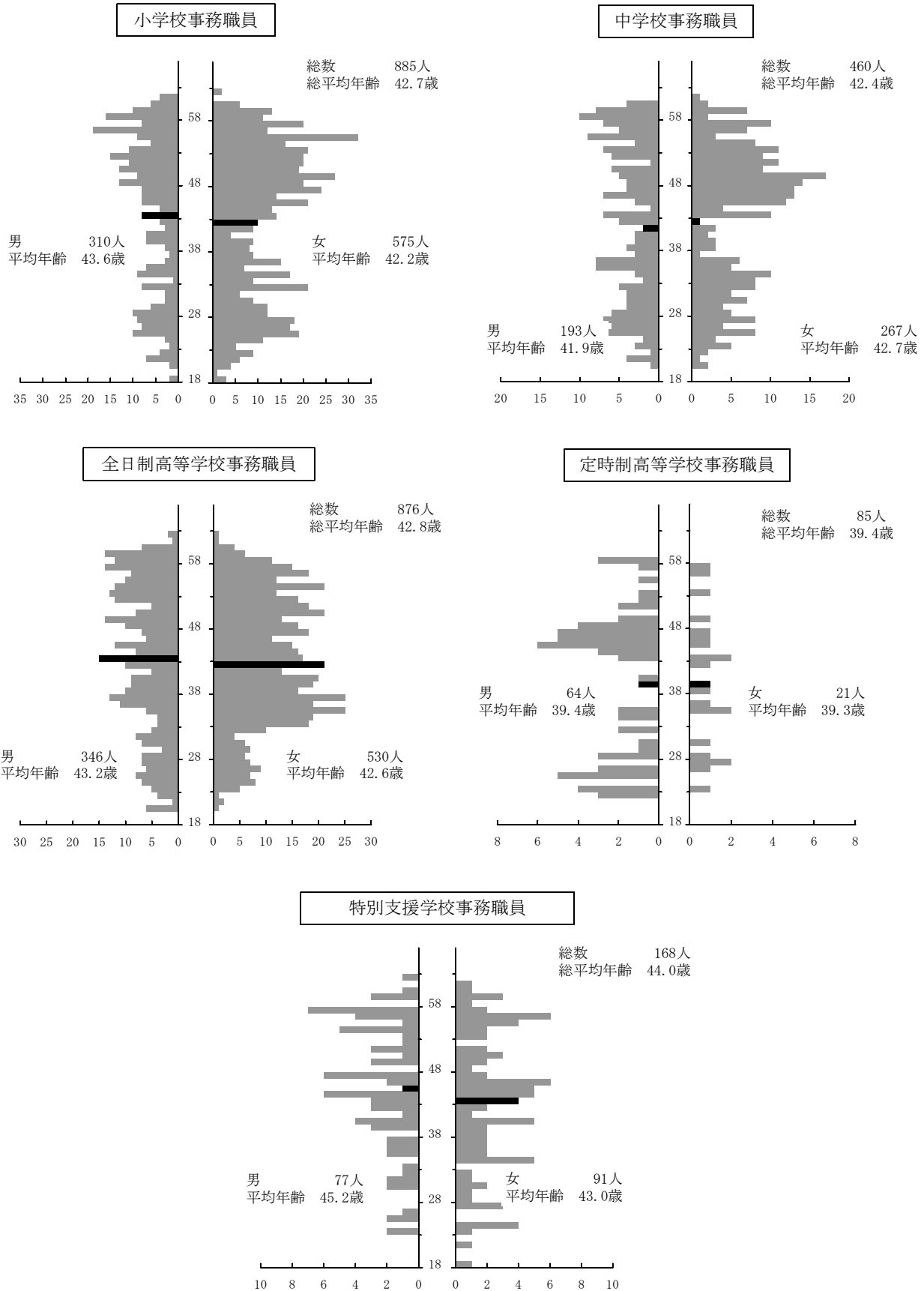
第24図 特別支援学校事務職員の年齢構成の推移



第25-1図 事務職員（市町村立小・中学校は負担法による者）の年齢構成（総数）



第25-2図 事務職員（市町村立小・中学校は負担法による者）の男女別年齢構成



(3) 学校栄養職員（市町村立は負担法による者）の年齢構成

① 小学校

平成19年度の学校栄養職員は323人で、前年度より2人減少しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が35.6%で最も高く、次いで50歳代が22.9%、30歳代と40歳代が20.7%でした。男女別構成比をみると、男子4.6%、女子95.4%でした。

② 中学校

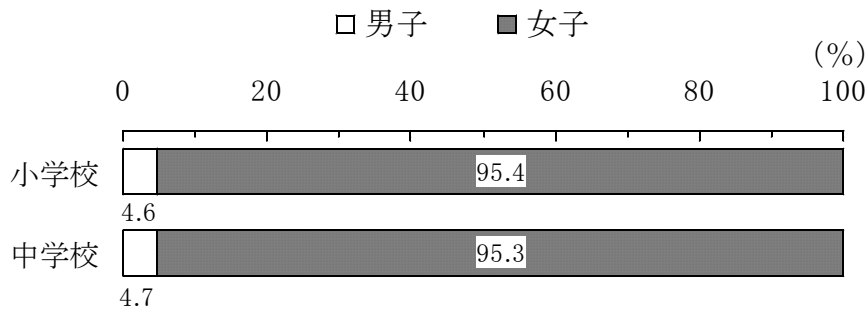
平成19年度の学校栄養職員は128人で、前年度より3人増加しました。

年齢構成の割合をみると、20歳代が30.5%で最も高く、次いで30歳代が28.9%、40歳代が24.2%でした。男女別構成比をみると、男子4.7%、女子95.3%でした。

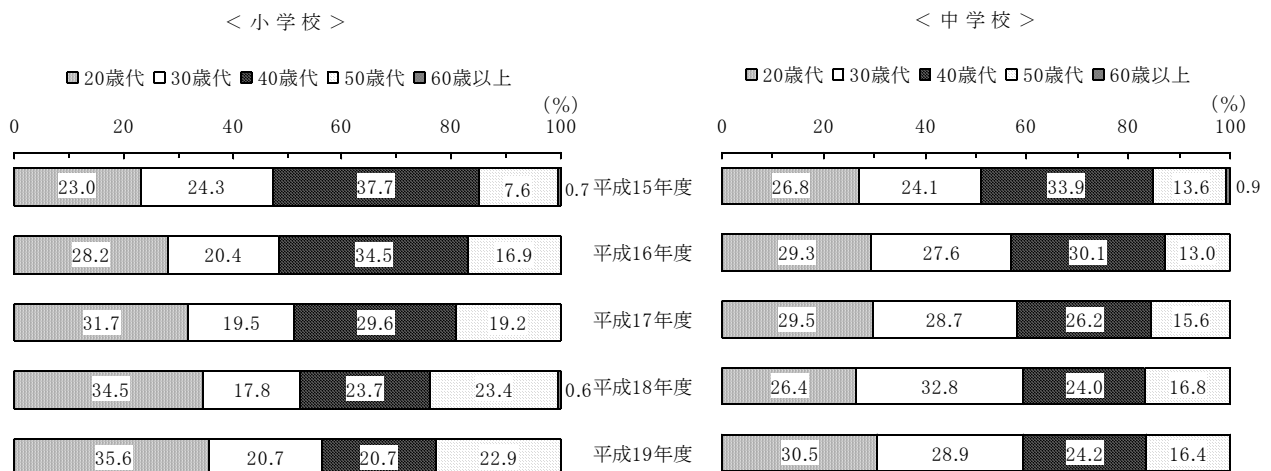
第6表 小・中学校の学校栄養職員（市町村立は負担法による者）の年齢構成

区 分	小 学 校			中 学 校		
	男	女	計	男	女	計
学校栄養職員数(人)	15	308	323	6	122	128
平均年齢(歳)	39.3	37.7	37.7	44.0	37.4	37.7
男女比(%)	4.6	95.4	100.0	4.7	95.3	100.0

第26図 小・中学校の学校栄養職員（市町村立は負担法による者）の男女比



第27図 小・中学校の学校栄養職員（市町村立は負担法による者）の年齢構成



【参考 1】 教育事務所の担当区域

教育事務所名	担当区域
南部教育事務所	川口市 鴻巣市 上尾市 草加市 蕨市 戸田市 鳩ヶ谷市 朝霞市 志木市 和光市 新座市 桶川市 北本市 伊奈町
西部教育事務所	川越市 所沢市 飯能市 東松山市 狭山市 入間市 富士見市 坂戸市 鶴ヶ島市 日高市 ふじみ野市 三芳町 毛呂山町 越生町 滑川町 嵐山町 小川町 川島町 吉見町 鳩山町 ときがわ町 東秩父村
北部教育事務所	熊谷市 秩父市 本庄市 深谷市 横瀬町 皆野町 長瀨町 小鹿野町 美里町 神川町 上里町 寄居町
東部教育事務所	行田市 加須市 春日部市 羽生市 越谷市 久喜市 八潮市 三郷市 蓮田市 幸手市 吉川市 騎西町 北川辺町 大利根町 宮代町 白岡町 菖蒲町 栗橋町 鷺宮町 杉戸町 松伏町

※ 秩父教育事務所は、平成 19 年度に北部教育事務所に統合されました。

【参考 2】 市町村合併状況一覧（平成19年10月1日現在）

合併日	新市町名	合併前の市町村名
平成 13 年 5 月 1 日	さいたま市	浦和市、大宮市、与野市
平成 17 年 1 月 1 日	飯能市	飯能市、名栗村
平成 17 年 4 月 1 日	さいたま市	さいたま市、岩槻市
平成 17 年 4 月 1 日	秩父市	秩父市、吉田町、大滝村、荒川村
平成 17 年 10 月 1 日	熊谷市	熊谷市、大里町、妻沼町
平成 17 年 10 月 1 日	春日部市	春日部市、庄和町
平成 17 年 10 月 1 日	鴻巣市	鴻巣市、吹上町、川里町
平成 17 年 10 月 1 日	ふじみ野市	上福岡市、大井町
平成 17 年 10 月 1 日	小鹿野町	小鹿野町、両神村
平成 18 年 1 月 1 日	行田市	行田市、南河原村
平成 18 年 1 月 1 日	深谷市	深谷市、岡部町、川本町、花園町
平成 18 年 1 月 1 日	神川町	神川町、神泉村
平成 18 年 1 月 10 日	本庄市	本庄市、児玉町
平成 18 年 2 月 1 日	ときがわ町	都幾川村、玉川村
平成 19 年 2 月 13 日	熊谷市	熊谷市、江南町